

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2009-225995(P2009-225995A)

【公開日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2008-74722(P2008-74722)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の図柄が回転表示される回転表示ゲームが行われる図柄表示手段と、前記図柄表示手段における図柄の回転表示ゲームを開始させるスタート操作手段と、前記スタート操作手段の操作に基づいて当選役についての抽選を行う役抽選手段と、前記役抽選手段による抽選の結果に基づいて前記回転表示の停止にかかる制御を行う回転停止制御手段と、

前記回転表示が停止されたときの前記図柄の表示態様に基づいて、前記回転表示ゲームの実行数が所定回数に達したことを契機として秘密裏に状態終了されうる有限遊技状態に制御可能な状態制御手段と、

所定の表示面にて演出表示を行う演出表示制御手段と、を備え、

前記演出表示制御手段は、

前記有限遊技状態が秘密裏に状態終了されて以降の所定期間にあるとき、前記所定の表示面のうちの特定領域に対しての遊技者による確認行為があったことを契機に、前記有限遊技状態が状態終了された旨を遊技者に確信させる状態告知表示を行う旨決定可能な回答的決定処理を実行する決定処理実行手段、及び

前記決定処理実行手段による前記回答的決定処理にて前記状態告知表示を行う旨決定されたことに基づいて前記状態告知表示を実行する回答的表示実行手段

を有しており、

前記決定処理実行手段は、

前記特定領域に対しての遊技者による確認行為が行われる頻度を算出する頻度算出手段を有し、該頻度算出手段により算出される前記確認行為の頻度の高低に基づいて、前記回答的決定処理の実行にかかる制御態様を変化させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記演出表示制御手段は、液晶表示装置の表示面にて演出表示を行う

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記演出表示制御手段は、キャラクタ画像による演出表示を行う

請求項 2 に記載の遊技機。